

◎ 人口に関する指標

平成27年4月1日

<p><b>1 総人口(10月1日現在)</b></p> <p>※出典：「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>東日本大震災(以下「震災」という)により平成23年は大きく減少したが、その後は次第に減少幅が緩やかになっている。直近1年間の動きをみると、対前年比で出生及び転入は増加、死亡及び転出は減少となっている。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p>	<p>対前年比0.56%の減。 (出生2.2%の増、転入5.0%の増、死亡1.0%の減、転出5.6%の減。)</p>
<p><b>2 社会動態</b> (生産年齢人口及び年少人口の前10月1日～現9月30日の動態)</p> <p>※出典：「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>震災時には、特に年少及び生産年齢女性の転出が大幅増となり、大きく転出超過となったが、平成25年までにほぼ震災前の水準まで回復した。直近1年間の動きをみると、生産年齢男性の転入超過の傾向が目立っている。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p>	<p>転入：対前年比4.7%の増。3年連続のプラス。 転出：対前年比5.7%の減。3年連続のマイナス。</p>
<p><b>3 出生数</b></p> <p>※出典：「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>本県の出生数は平成19年以降減少傾向にあり、特に平成23年と24年は震災の影響により大きく減少した。平成25年は7年ぶりに増加に転じ、平成26年も前年を上回り、震災前の傾向に戻ってきている。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p>	<p>対前年比0.4%の増。2年連続のプラス。</p>

◎ 経済に関する指標

<p><b>NEW! 4 県内総生産(名目)</b></p> <p>※出典：「福島県県民経済計算(確報及び早期推計)」</p> <p>平成25年度の県内総生産は7兆2,776億円と2年連続で増加し、震災前を上回った。これは、建設業が震災前の2倍を超える水準まで伸びたことによるが、好調に推移している製造業や火力発電所が本格稼働した電気・ガス・水道業も全体を押し上げた。</p> <p>対H22年度比 指数(H22=100)</p>	<p>経済成長率6.9%。2年連続のプラス。</p>
<p><b>NEW! 5 一人あたり県民所得</b></p> <p>※出典：「福島県県民経済計算(確報及び早期推計)」</p> <p>平成25年度の一人あたり県民所得は28万3千円と2年連続で増加した。これは、県内総生産の回復に伴い、民間法人企業所得が大幅に増加していることによる。また、全国を100とした所得水準は99.6となり、平成11年以来の高水準となった。</p> <p>対H22年度比 指数(H22=100)</p>	<p>対前年度比8.7%の増。2年連続のプラス。</p>

<h3>6 有効求人倍率</h3> <p>※出典：厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」</p>	<p>対前年比1.7ポイント増。5年連続のプラス。</p>
<p>震災前は全国よりやや低い水準で推移していたが、平成24年には復旧復興関連求人の増等で大きく伸び、国の水準を上回った。平成26年は、職業間のミスマッチは生じているものの、全体としては平成4年以来の高水準となるなど着実に改善している。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p> <p>H26 335.7</p>	<p>(倍)</p> <p>全国 福島県</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26</p> <p>0.90 0.67 0.52 0.42 0.67 0.90 1.09 1.41</p>
<h3>7 公共工事請負金額</h3> <p>※出典：東日本建設業保証株式会社「福島県内の公共工事の動向」</p>	<p>対前年比34.4%の増。3年連続のプラス。</p>
<p>震災以降、復旧復興の取組が続くなか3年連続で大きく増加し、平成26年には震災前の約5倍に伸びている。また、除染関連事業や環境創造センター等試験研究施設の新設など復興関連の大型事業により1件あたりの請負金額も増えている。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p> <p>H26 514.7</p>	<p>(億円) (前年比:%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26</p> <p>2,023 10,414</p>
<h3>8 重要港湾取扱貨物量</h3> <p>※出典：県港湾課「重要港湾小名浜港・相馬港海上出入貨物量」</p>	<p>対前年比1.1%の減。2年連続のマイナス。</p>
<p>平成23年は震災の甚大な被害により大きく落ち込んだ。震災後、港湾機能の早期回復を最優先に応急復旧が進められたことで平成24年には震災前を超える水準まで回復した。その後も本格復旧が進み、高水準を維持している。(福島県の重要港湾は、小名浜港及び相馬港の2港湾)</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p> <p>H26 114.0</p>	<p>(万トン) (前年比:%)</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26</p> <p>2,028 2,313</p>
<h3>9 大型小売店販売額</h3> <p>※出典：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」</p>	<p>対前年比3.5%の増。3年連続のプラス。</p>
<p>平成23年は震災により一時落ち込んだが、その後は生活再建需要で消費が増加し、平成24年には震災前水準を上回った。平成25年は飲食料品や家具・家電・家庭用品が好調に推移、平成26年は飲食料品が全体を牽引して、震災後3年連続の増加となっている。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100)</p> <p>H26 112.4</p>	<p>(億円) (前年比:%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26</p> <p>2,235 2,511</p>
<h3>10 地価 (住宅地)</h3> <p>※出典：国土交通省「地価公示」</p>	<p>対前年比3.0%の増。2年連続のプラス(福島市)。</p>
<p>震災以前から長期的な下落傾向であったが、住宅建築需要により土地取引が活発化したことから、平成26年に上昇に転じた。いわき市で特に顕著であるが、同様の傾向は福島市、会津若松市、郡山市などでも見られる。平成27年は県平均の上昇率が全国一となった。</p> <p>対H22年比 指数(H22=100) (福島市)</p> <p>H27 84.4</p>	<p>(円/m²)</p> <p>福島市 会津若松市 郡山市 いわき市</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27</p> <p>45,600 40,600 37,100 31,600</p>

※ 各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計(ふくしま統計情報BOX等)をご覧ください。